

「プライベート・ライアンを観て改めよ
アメリカの判例に日本が学ぶべきもの。」

アメリカテキサス地方裁判所で戦没者の慰靈碑などを破壊した少年グループに判決が下った。判決は「罰金500ドル」「400時間の社会奉仕」「真珠湾攻撃の日までに1000語以上の作文を書くこと」、そして極めつけは「プライベート・ライアンを観ること」!!! 少年は17~19歳。映画を観るよう言い渡したのは愛国心を学んで欲しいというのが理由なのだそうだが、アメリカの判例は実にユニークなものが多い。

日本でも、ボランティア活動を命じるという判決が下った判例が数年前にあったが、ボランティア期間中の被告が不祥事を起こしてしまった。それ以降、実刑や執行猶予以外の判決は下されていない。少年犯罪が増え続けている日本では、刑法の見直しで少年に重い刑を科すか否かという論点になっているが、刑に服させるよりも、やはり再教育や社会復帰に重点を置くのが理想。再教育プログラムのバリエーション強化もぜひ考えて欲しいものだ。

キレイ親を傷つけるような
日本の少年、少女には

「東京物語」でも観せようか!?



110・119の迷惑

悪いのは放置か、イタズラか?
君の緊急通報も無視されるかも。

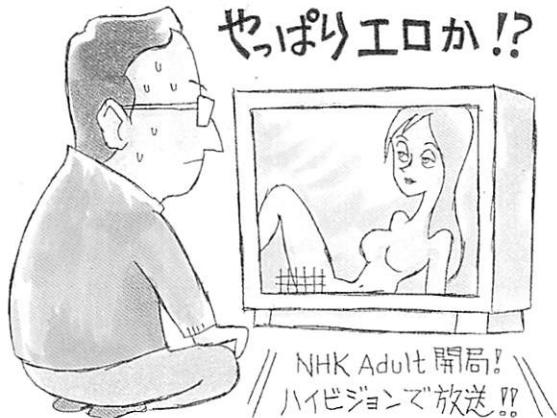
8月、脳梗塞の発作を起こした男性が京都市消防局に20回にわたって119番通報したが、イタズラ電話として放置される事件があった。結局この男性は近所の人に助けられて一命をとりとめたが、その一週間後、今度は警察が通報を無視し、人を死に至らせた。京都府警中立売署出町交番に「女性がマンションの隙間に寝こんでいる」との通報があったが、ビルから飛び降りた女性を「近辺の徘徊者が寝ている」と判断。約2時間かけて2件の道案内と1件の拾得物照会、そして昼食をとった後ようやく現場に駆けつけたが、女性は既に死亡していた。通報にイタズラは付きものだが、放置が間違いだったときのリスクは甚大。今回の事件、「対応の必要ななし」と判断したのは電話に出た人物だけの判断。判断ミスが人の死や大事故に繋がる緊急通報の現場がこんな曖昧な判断システムでいいのだろうか? そして、イタズラ電話をする馬鹿者は、一刻も早くそれが愚かな行為だと気付け。

イラスト◎両口 和史

1967年京都市生まれ。京都精華大学美術学部卒業。北山のオフィスにて様々なキャラクターイラスト制作をおこなうユニット「キャトル・イラストレーション」のチーフ。猫、フランシス、犬、車、家具、雑貨、レコード、本、おもちゃ、平日の公園。それらがイラストを構成するエッセンスである。HP●<http://www.d1.dion.ne.jp/~ryoguchi>

BSデジタル放送開始!
せっかく優れた次世代の技術も
番組の質が悪ければ、普及せず。

インターネット同様、普及を促進するのは
やっぱりエロか!?



NHK Adult 開局!
ハイビジョンで放送。PP

来月からNHKと民放放送によるBSデジタル放送が開始される。BSデジタル放送は、人工衛星を介して送られるデジタル信号により高画質化が実現。加えて双方向性なども強化。例えば、チューナーを介してテレビショッピングの注文ができるし、リモコンの情報ボタンひとつで文字の番組情報を呼びだしたりできる。マルチプレックス映画館みたいにマルチチャンネルで時差放送も可能だ。しかし、問題もある。チューナーが高すぎるのだ。当初は2~3万円と予想されていたが、実際は10万円前後! チューナー内蔵テレビにいたっては、40万~50万円台という高額。このままでは普及は困難だ。これから低価格化は進むと思うが、今後の普及は番組の内容次第。スカパーがセリエA全試合放送を開始してから契約が急激に伸びたように、BSデジタル放送を行う各放送局も内容の優れた番組を放送して欲しい。特に今の民放はレベルが低すぎて見る気がしない! どうかディスカバリー・チャンネルのように質の高い番組を放送して下さい。そうすれば喜んでチューナー買う気になります。

たとえイタズラであっても
「駆けつけたくなる」のが



るべき姿ではないのか!?

文○大塚 祐希

1968年大阪府八尾市生まれ。昔ながらの京都の民家を仕事場とするライターや集団「大塚祐希事務所」の暫定CEO。「スポーツが好きだが自分ではやらない」「車が好きだが免許を持っていない」「酒が好きだが外で飲むと店で眠ってしまう」という数々のジレンマと戦いつつ、今日も愛機G4を駆る。

